



農作業メモ

農作業事故の発生原因と

対策のポイント

1 農作業の死亡事故

農水省が発表した2016年の農作業事故調査結果によると、農業就業者10万人あたりの死亡者数は約16人と過去最多となりました。これは、建設業の6人や、全産業平均の1.4人を大きく上回り、ここ10年間で約3割も増加しています。

2016年に起きた農作業死亡事故の約70%は農業機械を使った作業中の事故で、発生原因は、機械の転落・転倒、挟まれ、回転部等への巻き込まれ等となっています。

2 事故の発生原因と対策

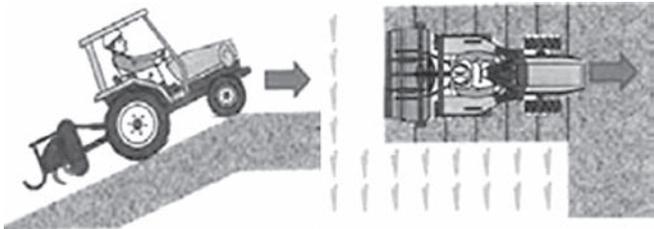
(1) 機械の転落・転倒の防止

農業機械作業における最も多い事故発生原因が「機械の転落・転倒」です。装着可能な場合は、安全キャブ・フレームを装着し、乗車時はシートベル

ト・ヘルメットを必ず着用しましょう。併せて次の点に注意しましょう。

☆作業環境を確認し、危険性に配慮する。

- ① 路肩が分るようるよう、草刈りを行
- い、見通しをよくする。
- ② 幅員の狭い農道や曲がり角は、特に減速し、注意して走行。
- ③ ほ場の出入



作業機を下げて、傾斜に対して直角の向きで入退出しましょう。

入口は傾斜方向に対し平行に進入。☆ブレーキペダルの連結を確認。

ほ場への出入りや道路走行時、また、傾斜地での作業や畔を乗り越えるなどの操作を行う前には、必ず左右ブレーキを連結しましょう。

(2) 挟まれ事故防止

挟まれ事故は歩行型トラクターで多く発生しています。後方の立木、支柱などの障害物の周りでは、ゆっくりと運転し、余裕ある距離を保つようにしましょう。

(3) 回転部等への巻き込み防止

トラクターで多く発生しています。絡まった草や詰まったわらを取り除く際は、必ずエンジンを停止させて、安全な状態にしてから行いましょう。

3 農作業中は気をゆるめない!

事故は慣れによる油断や、あせりによる不注意によって引き起こされることが多いので、これから農繁期を迎えるにあたり、十分に注意し、無理のない作業を行ってください。

ネギ収穫機などの盗難事故が増えています!

平成29年は、市内でトラクター、ねぎ収穫機の盗難事故が発生しています。トラクターの盗難被害の発生場所は、住宅や農機具置き場などの敷地内が多く、ネギ収穫機の場合はほ場で盗難にあっています。

◎ 盗難対策のポイント

- ・ネギ収穫機の盗難事故を防ぐため、作業が終わったら必ず農機具庫等に格納してください。
- ・農業機械に警報器、ハンドロック等の盗難防止用品を装着しましょう。
- ・倉庫等に防犯灯(センサー付きライト)、防犯カメラ、防犯警報器等を設置しましょう。
- ・倉庫のシャッター前、敷地の出入り口等、侵入が想定される通路にトラック等の障害物を置きましょう。

(大里農林振興センター 農業支援部)